

デジタル・シティズンシップ： メディア・リテラシーとの関係から学ぶ

2020年12月13日 15:00-17:00 オンライン

文責 岡本 和子

ジェイアーン 理事長挨拶 1

皆さんこんにちは。ジェイアーンの清水和久です。
本日は、全国から多数ご参加いただきましてありがとうございます。
2020年は、世界中が、COVID-19、新しい日常、不確定要素の多い中、
どのように対応するか大変苦労した1年となりました。
新たな年がもうすぐ始まりますので、リフレッシュして、新年に希望を
託したいと思います。

今、グローバル化・情報化の流れの延長線上に、デジタル社会を前提と
した新しい規範が、世界のどの国にも求められています。「デジタル時
代において、よりよく生きるための人材育成」つまり「デジタル・シ
ティズンシップの育成」が最大の課題となっています。

日本におけるGIGAスクール構想、プログラミング教育、大学入試も働
き方改革もすべてが「デジタル・シティズンシップ」の育成につながっ
ています。

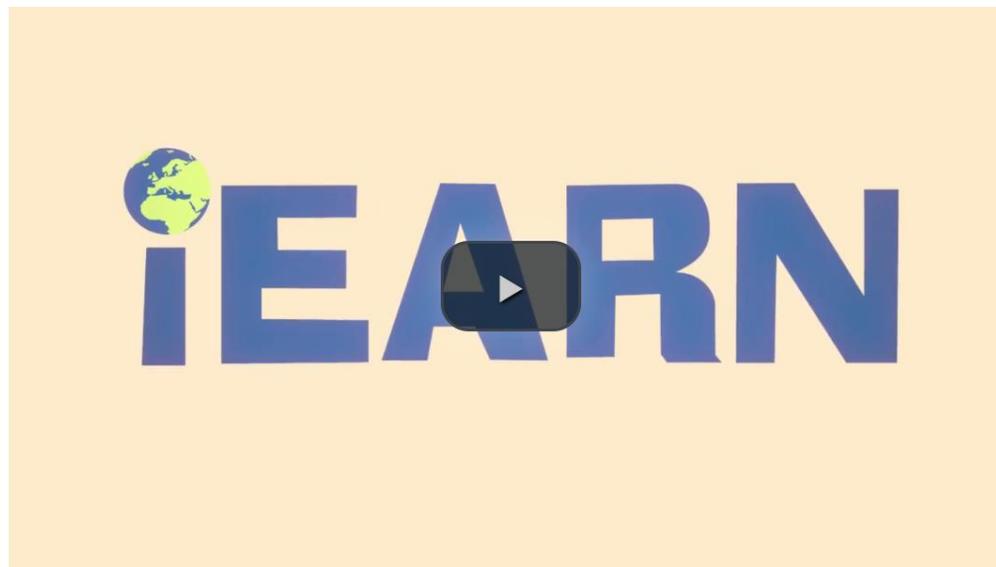
本日のワークショップで、この「デジタル・シティズンシップ」の基本
や、国内外におけるデジタル・シティズンシップの形成を目指そうとす
る事例や研究の知見を得られるます皆様はとてもハッピーです。

ジェイアーン 理事長挨拶 2

さて、本日の主催、ジェイアーンについて紹介させていただきます。
ジェイアーンは、アイアーンというグローバル教育ネットワークの日本センターです。ジェイアーンは、2003年設立以来、“世界と学ぶ”をスローガンに、デジタル・シティズンシップの育成につながるグローバル・シティズンシップの形成を目指し、ICTを活用して、日本の小中高大学生と世界中の生徒との対話を通じた国際協働学習に取り組んでいます。ジェイアーンでは、zoomで“世界一周子ども会議”も実現できます！

では、アイアーンを紹介いたします。

<https://iearn.org/>



ジェイアーン 理事長挨拶 3

アイアーンは、1988年以來、グローバル・シティズンシップの形成を目標とし、これまでの異文化理解や交流をベースとして、グローバルな視点を取り入れたプロジェクト学習に取り組んできました。アイアーンは今年の世界経済フォーラムで、未来の教育モデルのひとつとして選ばれています。

コロナ禍の今、ジェイアーンでは、ICTとグローバルネットワークを活用した小中高大社会連携のオンライン国際協働学習が可能な土壌がすでにできています。今こそ、「デジタル・シティズンシップ」につながる皆様とのご縁を大切に、未来の教育の仕組みやあり方について考えるネットワークを構築してまいりたいと考えています。

ワークショップ後半は各界からの日本における実践の可能性についての活発な質疑応答になると想定しています。このワークショップが実りのあるものとなり、デジタル時代を生きる道標（みちしるべ）となるよう祈念し、開会の挨拶とさせていただきます。